**発行日　YYYY/MM/DD**

**版数　第0.1版**

**詳細設計書**

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **版数** | **担当者** | **日付** | **改訂内容** |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

内容

[1 はじめに 4](#_Toc92801024)

[1.1 本資料の目的 4](#_Toc92801025)

[1.2 本資料の対象者 4](#_Toc92801026)

[1.3 本資料の範囲 4](#_Toc92801027)

[2 運用詳細設計書 5](#_Toc92801028)

[2.1 運用項目詳細設計 5](#_Toc92801029)

[2.1.1 時刻同期 5](#_Toc92801030)

[2.1.2 ログ運用 5](#_Toc92801031)

[2.1.3 保守運用 8](#_Toc92801032)

[2.1.4 監視設計 10](#_Toc92801033)

[2.1.5 ジョブ運用 11](#_Toc92801034)

[2.1.6 障害時運用 11](#_Toc92801035)

[2.1.7 運用・保守体制 11](#_Toc92801036)

[2.1.8 月次報告 11](#_Toc92801037)

[2.1.9 リリース運用 11](#_Toc92801038)

[2.1.10 災対運用 12](#_Toc92801039)

# はじめに

## 本資料の目的

本資料は、営業・融資サポートシステムの詳細設計書である。本書の記述に従い、以降の工程作業を行うことを目的とする。

## 本資料の対象者

本資料は、営業・融資サポートシステム開発の関係者すべてを対象とする。

## 本資料の範囲

本資料に記載される設計内容については、営業・融資サポートシステム開発のAWS共通基盤を運用するための詳細設計を範囲としている。

# 運用詳細設計書

## 運用項目詳細設計

営業・融資サポートシステムの各運用項目の詳細設計を以下に記載する。

### 時刻同期

本システムの各AWSサービスの時刻同期について、以下に記載する。

#### 時刻同期設定

対象サーバへの設定情報を以下に記載する。詳細は各サーバの「OSパラメータシート」を参照すること。なお、ここでパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

時刻同期設定

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目 | 設定内容 |
| NTPサーバ設定先 | Amazon Time Sync Serviceのリンクローカル IP アドレス  （169.254.169.123） |
| タイムゾーン | 日本時刻（Asia/Tokyo） |
| 同期モード | 0x9　※Amazon Windows AMI デフォルトNTP設定 |

### ログ運用

本システムのログ運用について、以下に記載する。

#### 各種ログ格納方法と期間

次項で各種ログの取得設定内容を検討するにあたり、まず、各種ログの格納方法と期間を、「別紙\_ログ運用」の「ログ格納方法・期間」シートにまとめる。

#### 各種ログ取得設定

各種ログの取得設定内容を、「別紙\_ログ運用」の「ログ取得設定」シートにまとめる。各種パラメータの詳細については、同シートの「ログ取得設定」列にとりまとめたAWS及びOSパラメータシートの参照先を確認のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

#### 作成手順書一覧

ログ運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。

作成手順書一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 対応項目 | | 作成手順書 |
| 1 | 監査ログ（バッチサーバ） | | Windowsイベントビューアー確認手順書(監査用) |
| 2 | 監査ログ（Web/APサーバ） | |
| 3 | Windowsイベントログ  ※OS、ミドルウェア含む | ログインログ及びアプリケーションの操作/アクセスログのみ |
| ログインログ及びアプリケーションの操作/アクセスログ以外 | Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用) |
| 4 | DB監査ログ | | ・AWSログコンソール確認手順書  ・AWSログコンソール確認手順書(DB監査用)  ・S3ファイルダウンロード手順書 |
| 5 | オンラインアプリケーションログ | |
| 6 | バッチアプリケーションログ | |
| 7 | ElastiCache for Redisログ | |
| 8 | Lambdaログ | |
| 9 | ALBログ | |
| 10 | S3アクセスログ | |

#### 作成手順書内容一覧

ログ運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 手順書 | 手順内容 |
| 1 | Windowsイベントビューアー確認手順書(監査用) | ・アクセス方法とログの検索方法を記載する。  ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・ログデータの取り扱いおよび保管時はZIP暗号化を行う。  ・個人情報の有無を区別した手順は不要とする。  ・イベントビューアーで参照する対象ログ分類を以下のとおり記載する。  　監査用：イベントビューアー分類【セキュリティ】 |
| 2 | Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用) | ・アクセス方法とログの検索方法を記載する。  ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・ログデータの取り扱いおよび保管時はZIP暗号化を行う。  ・個人情報の有無を区別した手順は不要とする。  ・イベントビューアーで参照する対象ログ分類を以下のとおり記載する。  　アプリケーション、システム用：イベントビューアー分類【アプリケーション】【システム】 |
| 3 | AWSログコンソール確認手順書 | ・アクセス方法とログの検索方法を記載する。  ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ログデータの取り扱いおよび保管時はZIP暗号化を行う。  ・個人情報の有無を区別した手順は不要とする。  ・イベントフィルターでの検索方法（検索文字列と日付指定）を記載する。  ・ログのダウンロード方法として、CloudWatch Logs からS3経由では行う方  法ではなく、CloudWatch LogsからのCSVダウンロード方法を記載する。 |
| 4 | AWSログコンソール確認手順書(DB監査用) | ・アクセス方法とログの検索方法を記載する。  ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ログデータの取り扱いおよび保管時はZIP暗号化を行う。  ・個人情報の有無を区別した手順は不要とする。  ・イベントフィルターでの検索方法（検索文字列と日付指定）では、ログの検索-イベント指定、ログの検索-日付指定で、DB監査ログを検索する方法を記載する。  ・ログのダウンロード方法として、CloudWatch Logs からS3経由では行う方  法ではなく、CloudWatch LogsからのCSVダウンロード方法を記載する。 |
| 5 | S3ファイルダウンロード手順書 | ・アクセス方法とログの検索方法を記載する。  ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ログデータの取り扱いおよび保管時はZIP暗号化を行う。  ・個人情報の有無を区別した手順は不要とする。 |

### 保守運用

本システムの保守運用について、以下に記載する。

#### バックアップ／リストア運用

本システムのバックアップ／リストア運用について、以下に記載する。

##### バックアップ運用設定

バックアップ／リストア運用のバックアップ運用設定を、「別紙\_バックアップリストア運用」の「バックアップ運用設定」シートにまとめる。各種パラメータの詳細については、同シートの「バックアップ設定」列にとりまとめたAWSパラメータシートの参照先を確認のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

##### 作成手順書一覧

バックアップ／リストア運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。なお、下記「―」の個所は、自動運用の対応項目のため、手順書は作成しないものとする。

作成手順書一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 対応項目 | 作成手順書 |
| 1 | システムバックアップ | AMI取得手順書 |
| 2 | ディスクバックアップ | EBSスナップショット取得手順書 |
| 3 | DBバックアップ（Auroraスナップショット） | Auroraスナップショット取得手順書 |
| 4 | DBバックアップ（トランザクションログ） | ― |
| 5 | AWSログ |
| 6 | OS、ミドルウェアのログ |
| 7 | バックアップデータの退避 |
| 8 | システムバックアップのリストア | ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書 |
| 9 | ディスクバックアップのリストア |
| 10 | DBバックアップのリストア | ・Auroraスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ）  ・Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） |
| 11 |

##### 作成手順書内容一覧

バックアップ／リストア運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| １ | AMI取得手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS管理コンソールから手動でAMIを取得し、世代数を超えた場合に古いものから1つずつ手動で削除する手順を記載する。 |
| 2 | EBSスナップショット取得手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS Backup コンソールから手動でEBSスナップショットを取得する手順を記載する。  ・EBSスナップショットは通常、日次で自動取得されるが、リリース作業の中で手動作業があるため、手順書を作成する。 |
| 3 | Auroraスナップショット取得手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS Backup コンソールから手動でAuroraスナップショットを取得する手順を記載する。  ・Auroraスナップショットは通常、日次で自動取得されるが、リリース作業の中で手動作業があるため、手順書を作成する。 |
| 4 | AMIリストア手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AMIコンソールからEC2インスタンスをリストアを実施する手順を記載する。 |
| 5 | EBSスナップショットリストア手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS BackupコンソールからEBSをリストアし、EC2コンソールから、リストアしたEBSを使用してEC2インスタンスをリストアする手順を記載する。 |
| 6 | Auroraスナップショットリストア手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS BackupコンソールからAuroraスナップショットを用いてリストア実施する手順を記載する。 |
| 7 | Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ) | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・RDSコンソールからAuroraスナップショットを用いて、リストア対象を選択し、特定時点への復元から任意の復元時点を選択してリストアを実施する。 |
| 8 | Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・東京リージョンにAuroraクラスターが存在しない場合、大阪リージョンからフェールオーバーする手順を記載する。 |

#### アカウント運用

本システムのアカウント運用について、以下に記載する。

##### ID/パスワード管理方法

次項で、アカウント運用設定およびアカウント運用手順を検討するにあたり、アカウント運用におけるID/パスワード管理方法を、「別紙\_アカウント運用」の「アカウント運用」シートの「アカウント運用管理方法」列にまとめる。本内容は、機器アカウント種別一覧をもとに検討したものである。

また、手順書作成フェーズで作成予定の「ID/パスワード管理台帳」は、この「別紙\_アカウント運用」の「アカウント運用」シートをもとに作成されるものとする。

##### アカウント運用設定

アカウント運用設定では「AWSパスワードポリシー設定」に対応する。そのため、設定内容を、「別紙\_アカウント運用」の「アカウント運用設定」シートの「AWSパスワードポリシー設定」列にまとめる。パラメータの詳細については、「AWSパラメータシート」の「IAM」シートを参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

##### 作成手順書一覧

アカウント運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。なお、作成対象でない手順書については記載しないものとする。

作成手順書一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 対応項目 | 作成手順書 |
| 1 | AWS管理コンソール  管理用アカウント(ルートユーザ) | ・MW／DBアカウント貸し出し手順書  ・AWS管理コンソールパスワード変更手順書 |
| 2 | AWS管理コンソール  ISID用アカウント |
| 3 | AWS管理コンソール  構築用アカウント |
| 4 | AWS管理コンソール  保守運用用アカウント |
| 5 | バッチサーバ、Web/APサーバ  作業用アカウント  (administrator同等アカウント) | ・MW／DBアカウント貸し出し手順書  ・OSパスワード変更手順書 |

##### 作成手順書内容一覧

アカウント運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | MW／DBアカウント貸し出し手順書 | ・対象は「別紙\_機器アカウント種別一覧」に記載されたアカウントとする。  ・ID/パスワード管理台帳でIDとパスワードを管理することを記載する。  ・ID/パスワード管理台帳は手順書とともに作成する。  ・本台帳を用いたパスワード変更（変更間隔、変更実施日、次回変更予定日、変更実施者）管理および手順を記載する。  ・本台帳を用いたアカウント貸出（状態【貸出中】、貸出予定期間、貸出期間、貸出者）管理および手順を記載する。  ・全体の流れの運用フローを記載する。 |
| 2 | AWS管理コンソールパスワード変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・AWS管理コンソール上でパスワード変更を行なう手順を記載する。 |
| 3 | OSパスワード変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID監理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・OS上でパスワード変更を行なう手順を記載する。 |

#### セキュリティ運用

本システムのセキュリティ運用について、以下に記載する。

##### セキュリティ運用設定

セキュリティ設定内容を、「別紙\_セキュリティ運用」の「セキュリティ運用設定」シートの「セキュリティ設定」列にまとめる。パラメータの詳細については、「AWSパラメータシート」の「VPC」シート、および、各サーバの「OSパラメータシート」を参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

##### 作成手順書一覧

セキュリティ運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。IISのセキュリティパッチはOSのセキュリティパッチに含まれ、手順が同一のため、個別に手順書は作成しないこととする。また、下記に「―」が記載された対応項目については、手動で作業を行わないため、手順書を作成しないものとする。

作成手順書一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 対応項目 | 作成手順書 |
| 1 | アクセス制御の適用 | ウィルス検知時の隔離用SG適用手順書 |
| 2 | 更新プログラム適用 | ・OSセキュリティパッチ適用手順書  ・Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書  ・Redisサービス更新手順書 |
| 3 | ウィルスパターン・エンジン更新運用 | ― |
| 4 | ウィルススキャン運用 | SEP手動スキャン手順書 |

##### 作成手順書内容一覧

セキュリティ運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | ウィルス検知時の隔離用SG適用手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2、ALB、Amazon Aurora、ElastiCache for Redis、VPCエンドポイント、Lambdaの適用手順について記載する。  ・EC2、ALBの適用手順では、EC2コンソールから、ウィルス検知時の隔離用SGをアタッチする手順を記載する。また、EC2とALBの対応手順は共通化し、それぞれで個別の作業が必要な個所のみ手順を分岐させる。  ・Amazon Auroraの適用手順では、RDSコンソールから、ウィルス検知時の隔離用SGをアタッチする手順を記載する。  ・ElastiCache for Redis の適用手順では、ElastiCacheコンソールから、ウィルス検知時の隔離用SGをアタッチする手順を記載する。  ・VPCエンドポイントの適用手順では、VPCコンソールから、ウィルス検知時の隔離用SGをアタッチする手順を記載する。  ・Lambdaの適用手順では、Lambdaコンソールから、ウィルス検知時の隔離用SGをアタッチする手順を記載する。 |
| 2 | OSセキュリティパッチ適用手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・手動のパッチ適用手順を記載する。 |
| 3 | Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・RDSコンソールから任意のタイミングで実施するパッチ適用手順を記載する。 |
| 4 | Redisサービス更新手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・Redisコンソールからサービスを更新する手順を記載する。 |
| 5 | SEP手動スキャン手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・全体スキャンおよび、ファイルに対して、任意スキャンを行う手順を記載する。 |

#### メンテナンス運用

本システムのメンテナンス運用について、以下に記載する。

##### メンテナンス運用設定

メンテナンス運用の各対応項目での設定について、以下に取りまとめる。なお、各対応項目のための事前運用設定については以下の「備考」のとおり、パラメータの個別設定が必要な運用項目はないため、手順書作成のみとなる。

対応項目一覧

| No | 対応項目 | 備考 |
| --- | --- | --- |
| 1 | DBメンテナンス運用 | 統計情報取得/更新、インデックス再構築に必要なパラメータ個別設定項目はないため、考慮無し |
| 2 | リソース拡張 | リソース（メモリ、CPU、ディスク）拡張に必要なパラメータ個別設定項目はないため、考慮無し |
| 3 | 保守作業効率化 | 保守作業効率化として実施する具体的な対応内容は、月次報告で取り扱われる監視結果、その時の状況をもとに検討、決定されるため、事前の考慮無し |
| 4 | カレンダ運用 | Hinemosのカレンダ登録に必要なパラメータ個別設定項目はないため、考慮無し |
| 5 | システム計画停止 | システム計画停止にかかわる作業に必要なパラメータ個別設定項目はないため、考慮無し |

##### 作成手順書一覧

メンテナンス運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。なお、下記に「―」が記載された対応項目については、手動で作業を行わないため、手順書を作成しないものとする。

作成手順書一覧

| No | 対応項目 | 作成手順書 |
| --- | --- | --- |
| 1 | DBメンテナンス運用 | ・VacuumおよびAnalyzeコマンド実行手順書  ・DBインデックス再構築手順書  ・Auroraクラスター設定追加、更新、削除手順書  ・Redisクラスター設定追加、更新、削除手順書  ・Auroraパラメータグループ設定追加、更新、削除手順書  ・Redisパラメータグループ設定追加、更新、削除手順書 |
| 2 | リソース拡張 | ・EC2インスタンスタイプ変更手順書  ・EC2ストレージサイズ変更手順書  ・DBインスタンスクラス変更手順書  ・Redisノードタイプ変更手順書 |
| 3 | 保守作業効率化 | ― |
| 4 | カレンダ運用 | Hinemosカレンダー追加、更新、削除手順書 |
| 5 | システム計画停止 | ・IIS停止、起動手順書  ・OS停止、起動手順書  ・EC2停止、起動手順書  ・Aurora停止、起動手順書  ・Redis再起動手順書 |

##### 作成手順書内容一覧

メンテナンス運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | VacuumおよびAnalyzeコマンド実行手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→Amazon Aurora」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→Amazon Aurora」であることを記載する。  ・vacuum、analyzeコマンドを使用した手順を記載する。 |
| 2 | DBインデックス再構築手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→Amazon Aurora」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→Amazon Aurora」であることを記載する。  ・reindexコマンドを使用した手順を記載する。 |
| 3 | Auroraクラスター設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・RDSコンソールから、クラスター設定を変更する手順を記載する。 |
| 4 | Redisクラスター設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ElastiCacheコンソールから、クラスター設定を変更する手順を記載する。 |
| 5 | Auroraパラメータグループ設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・RDSコンソールから、パラメータグループ設定を変更する手順を記載する。 |
| 6 | Redisパラメータグループ設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ElastiCacheコンソールから、パラメータグループ設定を変更する手順を記載する。 |
| 7 | EC2インスタンスタイプ変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールから変更する手順を記載する。  ・バッチサーバはEC2インスタンス2台構成、Web/APサーバはEC2インスタンス4台構成としているため、各サーバのインスタンス毎で、同様の拡張対応を行う。 |
| 8 | EC2ストレージサイズ変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールから変更する手順を記載する。  ・バッチサーバはEC2インスタンス2台構成、Web/APサーバはEC2インスタンス4台構成としているため、それぞれのインスタンスで同様の拡張対応を行う。 |
| 9 | DBインスタンスクラス変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・RDSコンソールから変更する手順を記載する。作業中に一時的なコネクション切断が発生することを前提とする。 |
| 10 | Redisノードタイプ変更手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ElastiCacheコンソールから、ノードタイプを変更する手順を記載する。 |
| 11 | Hinemosカレンダー追加、更新、削除手順書 | ・Hinemosへの接続はリモート保守環境から行えないことから横浜銀行事務センターへ駆けつけとななり、「仮想化管理端末→Hinemosマネージャ」であることを記載する。  ・作成済みのカレンダ定義をHinemosに追加、更新、削除する手順を記載する。 |
| 12 | IIS停止、起動手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・OS上でIISを停止、起動する手順を記載する。 |
| 13 | OS停止、起動手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→対象サーバ」、横浜銀行事務センターからの場合は「特権ID管理端末→対象サーバ」であることを記載する。  ・OSを停止、起動する手順を記載する。 |
| 14 | EC2停止、起動手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールからEC2インスタンスを停止、起動する手順を記載する。 |
| 15 | Aurora停止、起動手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」」であることを記載する。  ・RDSコンソールからAurora DBを停止、起動する手順を記載する。 |
| 16 | Redis再起動手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ElastiCache For Redisを手動で再起動する手順を記載する。 |

### 監視設計

本システムの監視設計について、以下に記載する。

#### 監視設定

監視設計での設定内容を、「別紙\_監視設計」の「監視設定」シートにまとめる。パラメータの詳細については、「Hinemos監視設定ヒアリングシート」、「Hinemosパラメータシート」、「AWSパラメータシート」の「Cloudwatch」シートを参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

#### 作成手順書一覧

監視設計で作成対象とする手順書を下表にまとめる。

作成手順書一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 対応項目 | 作成手順書 |
| 1 | ノード監視 | ※Hinemos監視の抑止、解除については、運用担当者に対してエラーが検知される旨を連携する流れとなるため、手順書を作成しない。 |
| 2 | プロセス監視 |
| 3 | ジョブ監視 |
| 4 | サービス監視 |
| 5 | リソース監視 | ※HinemosおよびCloudWatch監視の抑止、解除については、運用担当者に対してエラーが検知される旨を連携する流れとなるため、手順書を作成しない。 |
| 6 | ログ監視 |
| 7 | AWS監視 | CloudWatch監視の抑止、解除については、運用担当者に対してエラーが検知される旨を連携する流れとなるため、手順書を作成しない。 |
| 8 | 通知方式 | SNS通知先追加、削除手順書 |

#### 作成手順書内容一覧

監視設計で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 手順書 | 手順内容 |
| 1 | SNS通知先追加、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・SNS コンソールから通知先を追加、削除する手順を記載する。 |

### ジョブ運用

本システムのジョブ運用について、以下に記載する。

#### ジョブ運用設定

ジョブ運用の設定内容について、「別紙\_ジョブ運用」の「ジョブ設定」シートにまとめる。本内容は、基本設計における運用タイムチャートやその他ジョブ運用をベースにHinemosジョブ、OS運用として個別設計が必要な定期実行されるタスクについて検討を行うもの。各種パラメータの詳細について、Hinemosジョブ設定はジョブ定義ファイルを、その他は「OSパラメータシート」を参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート作成者へインプット情報を提供する目的がある。

#### 作成手順書一覧

ジョブ運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。なお、作成対象でない手順書については記載しないものとする。

作成手順書一覧

| 対象サーバ | 対応項目 | 作成手順書 |
| --- | --- | --- |
| バッチサーバ | システム起動 | ジョブ手動実行手順書 |
| システム稼働（業務ジョブ実行） |
| システム停止 |
| Web/APサーバ | システム起動 |
| システム稼働（Webサイト（サブドメイン）起動/停止ジョブ実行） |
| システム停止 |

#### 作成手順書内容一覧

ジョブ運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 手順書 | 手順内容 |
| 1 | ジョブ手動実行手順書 | ・Hinemosへの接続はリモート保守環境から行えないことから横浜銀行事務センターへ駆けつけとなり、「仮想化管理端末→Hinemosマネージャ」であることを記載する。  ・Hinemosマネージャから、各種ジョブを停止、起動する手順を記載する。 |

### 障害時運用

本システムの障害時運用について、以下に記載する。

#### 障害時運用設定

障害時運用設計での設定内容を、「別紙\_障害時運用」の「障害時運用」シートにまとめる。パラメータの詳細については、「AWSパラメータシート」の「RDS」、「ElastiCache」シートを参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

#### 作成手順書一覧

障害時運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。また、下記に「―」が記載された対応項目については、手動で作業を行わないため、手順書を作成しないものとする。

作成手順書一覧

| 対象サーバ | 想定される障害 | 手順書 |
| --- | --- | --- |
| バッチサーバ | AZ障害  （ap-northeast-1a） | ・EC2停止、起動手順書  ・バッチサーバ手動切り替え作業手順書 |
| AZ障害  （ap-northeast-1c） |
| インスタンス障害  （サーバ停止） | ・EC2停止、起動手順書  ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書 |
| インスタンス障害  （サーバ起動不可、ミドルウェアなど） |
| バッチ処理の失敗 | ジョブ手動実行手順書 |
| Web/APサーバ | AZ障害  （ap-northeast-1a） | EC2停止、起動手順書 |
| AZ障害  （ap-northeast-1c） |
| インスタンス障害  （サーバ停止） | ・EC2停止、起動手順書  ・IIS停止、起動手順書  ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書 |
| インスタンス障害  （サーバ起動不可など） |
| DBサーバ（Aurora） | AZ障害  （ap-northeast-1a） | Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書 |
| AZ障害  （ap-northeast-1c） |
| DBインスタンス障害  （サーバ停止） | ・Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書  ・Aurora停止、起動手順書 |
| DBインスタンス障害  （サーバ起動不可など） | ・Auroraスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ) |
| Auroraレプリカ障害 | ― |
| DBサーバ（ElastiCache） | AZ障害  （ap-northeast-1a） | ― |
| AZ障害  （ap-northeast-1c） | ― |
| ElastiCacheノード障害  （ノード停止） | ・Redis再起動手順書 |
| ElastiCacheノード障害  （サーバ起動不可など） | ― |
| リードレプリカ障害 | ― |

#### 作成手順書内容一覧

障害時運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 手順書 | 手順内容 |
| 1 | EC2停止、起動手順書 | 詳細は「2.1.3.4メンテナンス運用」を参照のこと。 |
| 2 | IIS停止、起動手順書 |
| 3 | バッチサーバ手動切り替え作業手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・障害が発生したAZが復旧後に、Active機での稼働状態に戻す手順を記載する。 |
| 4 | AMIリストア手順書 | 詳細は「2.1.3.1バックアップリストア運用」を参照のこと。 |
| 5 | EBSスナップショットリストア手順書 |
| 6 | ジョブ手動実行手順書 | 詳細は「2.1.5ジョブ運用」を参照のこと。 |
| 7 | Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・障害復旧後の切り戻しも想定し、Auroraを手動でフェールオーバさせる手順書を記載する。 |
| 8 | Aurora停止、起動手順書 | 詳細は「2.1.4メンテナンス運用」を参照のこと。 |
| 9 | Redis再起動手順書 |
| 10 | Auroraスナップショットリストア手順書 | 詳細は「2.1.3.1バックアップリストア運用」を参照のこと。 |
| 11 | Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ) |

### 運用・保守体制

本システムの運用・保守体制について、以下に記載する。

#### 運用・保守フロー

本項は運用・保守体制に関するもののため、運用フローについて説明を行う。各対応項目に対応した運用フローを、以下に記載する。なお、運用フローのもとになる体制図については、「別紙\_ISIDサービスデスク運用・保守」の「運用・保守体制図」シートを参照のこと。

運用フロー一覧

| No | 対応項目 | 運用フロー |
| --- | --- | --- |
| 1 | ハードウェア契約 | 本システムはAWS基盤を使用しており、ハードウェアのライセンスやサポート契約がないため、対象外 |
| 2 | ソフトウェア契約 | 「別紙\_営業・融資サポートシステム\_サーバ／ソフトウェア一覧」の「運用フロー」シートを参照のこと |
| 3 | 運用・保守役割分担 | 「別紙\_ISIDサービスデスク運用・保守」の「運用・保守フロー」シートを参照のこと |
| 4 | オペレーション訓練 | 「別紙\_オペレーション訓練管理表」の「運用フロー」を参照のこと |

#### 作成手順書一覧

本項で作成対象とする手順書を下表にまとめる。「別紙\_ISIDサービスデスク運用・保守フロー」での問い合わせ対応、作業依頼対応として想定可能な手順書を、作成対象とする。

作成手順書一覧

| カテゴリ | 作成手順書 |
| --- | --- |
| データベース操作 | ・Secrets Managerパスワード参照手順書  ・DBデータエクスポート・インポート手順書  ・環境間データコピー手順書  ・SQL実行手順書 |
| AWS操作 | ・CloudWatch通知設定追加、更新、削除手順書  ・IAMロール・ポリシー設定追加、更新、削除手順書  ・ALBリスナールール設定追加、更新、削除手順書  ・ターゲットグループ追加、更新、削除手順書  ・SG設定追加、更新、削除手順書  ・S3バケット追加、更新、削除手順書  ・S3ファイルダウンロード手順書  ・SNS通知先追加、削除手順書 |
| ログ確認 | ・Windowsイベントビューアー確認手順書(監査用)  ・Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用)  ・AWSログコンソール確認手順書  ・S3ファイルダウンロード手順書 |
| アカウント管理 | ・MW／DBアカウント貸し出し手順書  ・AWS管理コンソールパスワード変更手順書  ・OSパスワード変更手順書 |

#### 作成手順書内容一覧

本項で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | Secrets Managerパスワード参照手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・DB関連作業を行うにあたり、RDSログインパスワードをSecrets Managerで参照するための手順を記載する。 |
| 2 | DBデータエクスポート・インポート手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→Amazon Aurora」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→Amazon Aurora」であることを記載する。  ・DBデータを、コマンドでエクスポートおよびインポートする手順を記載する。 |
| 3 | 環境間データコピー手順書 | ・本番環境にあるデータを開発環境に移動する手順を記載する。データは本番環境の踏み台サーバにあること前提とした手順を記載する。 |
| 4 | SQL実行手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→Amazon Aurora」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→Amazon Aurora」であることを記載する。  ・事前送付されたSQLを実行する手順を記載する。  ・クエリ結果の取得が必要な場合は、ファイルでダウンロードできる手順を記載する。 |
| 5 | CloudWatch通知設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・CloudWatchコンソールから、CloudWatchの通知設定のための手順を記載する。 |
| 6 | IAMロール・ポリシー設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・IAMコンソールから、IAMのロールとポリシーを追加、更新、削除する手順を記載する。 |
| 7 | ALBリスナールール設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールから、ALBリスナールールを追加、更新、削除する手順を記載する。 |
| 8 | ターゲットグループ追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールから、ターゲットグループを追加、更新、削除する手順を記載する。 |
| 9 | SG設定追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・EC2コンソールから、SGルールを追加、更新、削除する手順を記載する。 |
| 10 | S3バケット追加、更新、削除手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・S3コンソールから、バケットを追加、変更、削除する手順を記載する。 |
| 11 | S3ファイルダウンロード手順書 | 詳細は「2.1.2 ログ運用」を参照のこと。 |
| 12 | Windowsイベントビューアー確認手順書  (監査用) |
| 13 | Windowsイベントビューアー確認手順書  (アプリケーション、システム用) |
| 14 | AWSログコンソール確認手順書 |
| 15 | MW／DBアカウント貸し出し手順書 | 詳細は「2.1.3.2 アカウント運用」を参照のこと。 |
| 16 | AWS管理コンソールパスワード変更手順書 |
| 17 | OSパスワード変更手順書 |
| 18 | SNS通知先追加、削除手順書 | 詳細は「2.1.4 監視設計」を参照のこと。 |

### 月次報告

本システムの月次報告について、以下に記載する。

#### 月次報告運用設定

月次報告で使用する設定内容を、「別紙\_月次報告」の「月次報告用設定」シートにまとめる。パラメータの詳細については、「AWSパラメータシート」の「EC2」シート、「S3」シート、「Lambda」シート、および、「OSパラメータシート」を参照のこと。

なお、別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

#### 作成手順書一覧

月次報告に関連して作成対象とする手順書を下表にまとめる。なお、下記に「―」が記載された対象項目については、手動で作業を行わないため、手順書を作成しないものとする。

作成手順書一覧

| カテゴリ | 対象項目 | 作成手順書 |
| --- | --- | --- |
| パッチおよびAWSメンテナンス情報収集 | AWSメンテナンス情報 | ・Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書  ・Redisサービス更新手順書 |
| セキュリティ | OSセキュリティパッチ適用手順書 |
| 定期報告 | リソース使用状況/性能 | ・CloudWatchリソース情報確認手順書  ・S3ファイルダウンロード手順書 |
| 障害対応状況 | ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ)  ・Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） |
| 問い合わせ状況 | ・Windowsイベントビューアー確認手順書(監査用)  ・Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用)  ・AWSログコンソール確認手順書  ・AWSログコンソール確認手順書(DB監査用) |
| 課題検討状況 | ― |
| 運用計画状況 | ― |
| SLO達成状況 | ― |
| ライセンスや証明書 | 証明書手動更新手順書 |
| 定期点検 | リソース拡張検討 | ・EC2インスタンスタイプ変更手順書  ・EC2ストレージサイズ変更手順書  ・DBインスタンスクラス変更手順書  ・Redisノードタイプ変更手順書 |
| オペレーション訓練 | ― |
| 保守作業効率化検討 | ― |

#### 作成手順書内容一覧

月次報告対応で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書 | 詳細は「2.1.3.3　セキュリティ運用」を参照のこと。 |
| 2 | Redisサービス更新手順書 |
| 3 | OSセキュリティパッチ適用手順書 |
| 4 | CloudWatchリソース情報確認手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・CloudWatchコンソールから、リソース情報をダウンロードするための手順を記載する。 |
| 5 | S3ファイルダウンロード手順書 | 詳細は「2.1.2　ログ運用」を参照のこと。 |
| 6 | AMIリストア手順書 | 詳細は「2.1.3.1　バックアップ／リストア運用」を参照のこと。 |
| 7 | EBSスナップショットリストア手順書 |
| 8 | Auroraスナップショットリストア手順書 |
| 9 | Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ） |
| 10 | Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） |
| 11 | ・Windowsイベントビューアー確認手順書(監査用) | 詳細は「2.1.2　ログ運用」を参照のこと。 |
| 12 | ・Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用) |
| 13 | AWSログコンソール確認手順書 |
| 14 | AWSログコンソール確認手順書(DB監査用) |
| 15 | 証明書手動更新手順書 | ・各拠点からの接続の流れは、ISID品川からの場合は「リモート保守端末→踏み台サーバ→AWS管理コンソール」、横浜銀行事務センターからの場合は「AWSコンソール管理端末→AWS管理コンソール」であることを記載する。  ・ALBに証明書をインストールする手順を記載する。  ・「別紙\_証明書管理表」で状況管理することを記載する。 |
| 16 | EC2インスタンスタイプ変更手順書 | 詳細は「2.1.3.4　メンテナンス運用」を参照のこと。 |
| 17 | EC2ストレージサイズ変更手順書 |
| 18 | DBインスタンスクラス変更手順書 |
| 19 | Redisノードタイプ変更手順書 |

#### 月次報告用ドキュメント

月次報告での報告対象となるドキュメントを以下に記載する。「2.1.7　運用・保守体制」での対応の中で各管理表を適宜更新し、月次報告にて対象月の項目を報告する。

監査セキュリティチェック対応は、依頼を受けた場合に指定フォーマットに従って随時対応を行う。なお、依頼及び回答タイミングについては依頼側に依存するため、月次報告の場では報告せず、個別のタイミングでに報告を行うものとする。。

| カテゴリ | 報告項目 | 月次報告用ドキュメント |
| --- | --- | --- |
| パッチおよびAWSメンテナンス情報収集 | AWSメンテナンス情報 | 別紙\_パッチ・メンテナンス情報管理表 |
| セキュリティ | 別紙\_パッチ・メンテナンス情報管理表 |
| 定期報告 | リソース使用状況/性能 | 別紙\_リソース状況性能数値一覧表 |
| 障害対応状況 | 別紙\_障害対応管理表 |
| 問い合わせ状況 | 別紙\_問い合わせ管理表 |
| 課題検討状況 | 別紙\_課題対応管理表（カテゴリ：課題） |
| 運用計画状況 | 別紙\_運用計画管理表  ※2ヶ月以内に予定されているリリース作業やパッチ適用、各種メンテナンスなど計画停止を伴う作業を管理する。 |
| SLO達成状況 | 別紙\_SLO達成状況管理表 |
| ライセンスや証明書 | ・別紙\_営業・融資サポートシステム\_サーバ／ソフトウェア一覧.xlsx  ・別紙\_証明書管理表 |
| 定期点検 | リソース拡張検討 | 別紙\_課題対応管理表（カテゴリ：拡張性検討） |
| オペレーション訓練 | 別紙\_オペレーション訓練管理表 |
| 保守作業効率化検討 | 別紙\_課題対応管理表（カテゴリ：効率化検討） |

### リリース運用

本システムのリリース運用について、以下に記載する。

#### リリース運用フロー

本システムのリリース運用での対応項目は以下の3種類に分類され、リリース運用フローについては、「別紙\_リリース運用」の「リリース運用フロー」シートにまとめる。

なお、OS・セキュリティパッチ適用時のリリース資産受け渡しについては「別紙\_リリース運用」の「リリース資産受け渡しフロー」シート、および、フローで必要な設定については「リリース資産受け渡し設定内容」シートを参照のこと。別紙でパラメータを記載しているのは、運用の視点から設定項目を抽出し、パラメータシート設計者へインプット情報を提供する目的がある。

リリース運用

| 対応項目 | 内容 |
| --- | --- |
| アプリケーションリリース | バッチサーバ、Web/APサーバへのアプリケーションのリリース。アーキチームにて準備された自動化ツールで踏み台サーバからリリースを実行する。 |
| OS・セキュリティパッチ適用 | バッチサーバ、Web/APサーバへのOS・セキュリティパッチの適用。対象サーバにリリース資産のOS・セキュリティパッチを格納し、パッチ適用を行う。Aurora、Redisのセキュリティパッチ対応を含む。 |
| インフラリリース | AWS管理コンソールからリリース対象の更新を行うリリース。パラメータシート更新に基づいた更新対応を含む。 |

#### 作成手順書一覧

リリース運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。

作成手順書一覧

| カテゴリ | 作成手順書 |
| --- | --- |
| S3操作 | S3ファイルダウンロード手順書 |
| バックアップ | ・AMI取得手順書  ・EBSスナップショット取得手順書  ・Auroraスナップショット取得手順書 |
| アプリケーションリリース | アーキ側の自動化ツールを使用のため、対象外 |
| OS・セキュリティパッチ適用 | ・OSセキュリティパッチ適用手順書  ・リリース資産受け渡し手順書  ・Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書  ・Redisサービス更新手順書 |
| 再起動 | ・IIS停止、起動手順書  ・OS停止、起動手順書  ・EC2停止、起動手順書  ・Aurora停止、起動手順書  ・Redis再起動手順書 |
| サービス稼働確認 | 業務サービス稼働確認手順書 |
| 構成管理 | ファイル構成管理手順書 |
| リストア | ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書  ・Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ) |

#### 作成手順書内容一覧

リリース運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | S3ファイルダウンロード手順書 | 詳細は「2.1.2 ログ運用」を参照のこと。 |
| 2 | AMI取得手順書 | 詳細は「2.1.3.1 バックアップ／リストア運用」を参照のこと。 |
| 3 | EBSスナップショット取得手順書 |
| 4 | Auroraスナップショット取得手順書 |
| 5 | AMIリストア手順書 |  |
| 6 | EBSスナップショットリストア手順書 |  |
| 7 | Auroraスナップショットリストア手順書 |  |
| 8 | Auroraスナップショットリストア手順書(トランザクションログ） |  |
| 9 | OSセキュリティパッチ適用手順書 | 詳細は「2.1.3.3セキュリティ運用」を参照のこと。 |
| 10 | Amazon Auroraセキュリティパッチ適用手順書 |
| 11 | Redisサービス更新手順書 |
| 12 | IIS停止、起動手順書 | 詳細は「2.1.3.4メンテナンス運用」を参照のこと。 |
| 13 | OS停止、起動手順書 |
| 14 | EC2停止、起動手順書 |
| 15 | Aurora停止、起動手順書 |
| 16 | Redis再起動手順書 |
| 17 | 業務サービス稼働確認手順書 | ・業務トップページなどにブラウザでアクセスし、画面表示、DBとの疎通など、全体的に業務サービス稼働確認ができ、また、必要な場合は、サーバ内でプロセス状態を確認する手順を記載する。  ・画面内のコンテンツがエラーメッセージ無く表示されていること確認する手順を記載する。 |
| 18 | ファイル構成管理手順書 | リリースでパラメータシート、設計書および別紙に更新があった場合、GitHubを使用し、バージョン管理する手順を記載する。 |
| 19 | リリース資産受け渡し手順書 | ・本番環境、開発環境の場合、リリース資産を受け入れ、踏み台サーバのS3を経由して、対象サーバに配置する手順を記載する。  ・研修環境の場合、RDPのクリップボード共有でリリース資産を配置する手順を記載する。 |

### 災対運用

本システムの災対運用について、以下に記載する。

#### 災対運用フロー

本システムの災対運用での対応パターンは「東京リージョン（横浜銀行、東日本銀行）」と「ISID品川」に分類され、災対運用フローについては「別紙\_災対運用」の、「災対運用フロー（東京リージョン）」、「災対運用フロー（ISID品川）」シートにまとめる。

#### 作成手順書一覧

災対運用で作成対象とする手順書を下表にまとめる。

作成手順書一覧

| カテゴリ | 作成手順書 |
| --- | --- |
| ログ確認 | ・Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用)  ・AWSログコンソール確認手順書  ・S3ファイルダウンロード手順書 |
| リストア | ・AMIリストア手順書  ・EBSスナップショットリストア手順書  ・Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） |
| ジョブ再実行 | ジョブ手動実行手順書 |
| システム再起動 | ・IIS停止、起動手順書  ・OS停止、起動手順書  ・EC2停止、起動手順書  ・Aurora停止、起動手順書  ・Redis再起動手順書 |
| サービス正常性確認 | 業務サービス稼働確認手順書 |

#### 作成手順書内容一覧

災対運用で作成する手順書の内容を下表にまとめる。

作成手順書内容一覧

| No | 手順書 | 手順内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | Windowsイベントビューアー確認手順書(アプリケーション、システム用) | 詳細は「2.1.2 ログ運用」を参照のこと。 |
| 2 | AWSログコンソール確認手順書 |
| 3 | S3ファイルダウンロード手順書 |
| 4 | AMIリストア手順書 | 詳細は「2.1.3.1 バックアップ／リストア運用」を参照のこと。 |
| 5 | EBSスナップショットリストア手順書 |
| 6 | Auroraクラスターフェールオーバ対応手順書（大阪リージョン災対運用） |
| 7 | ジョブ手動実行手順書 | 詳細は「2.1.5 ジョブ運用」を参照のこと。 |
| 8 | IIS停止、起動手順書 | 詳細は「2.1.3.4 メンテナンス運用」を参照のこと。 |
| 9 | OS停止、起動手順書 |
| 10 | EC2停止、起動手順書 |
| 11 | Aurora停止、起動手順書 |
| 12 | Redis再起動手順書 |
| 13 | 業務サービス稼働確認手順書 | 詳細は「2.1.9 リリース運用」を参照のこと。 |